

◎細かい葉が多数並び、夜になると眠ったように葉を閉じる。枝を横に広げ、6

~8月に筆を広げたような花をつける。

らくようしょうこうぼく ◇落葉小高木

◇マメ科

[合歓木]

(気づき)









写真・解説/林 将之(樹木図鑑作家) 2021.6

















公益財団法人ニッセイ緑の財団







◇バラ科

## [書き方]

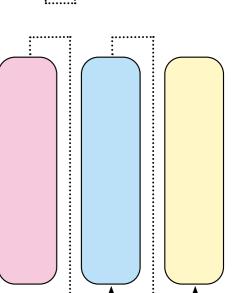
 $\widehat{\mathbb{C}}_{2}$ はじめに、校舎や体育館などをかいてみよう! ②裏にのっている木を採して、見つけたところに シールをはったり、絵をかいてみよう! ③その他に、どんな木があるか禁してかいてみよう!

気に入った木を観察してみよう! 木の名前

学校の木を観察して、どんな場所に、 どんな木が多かったかな?

気づいたことを書いてみよう!

ってみよう V しりとりをし 木の名前で、



たとえば…

(T) X  $\nearrow$ Ш 4  $\mathcal{C}$  $\mathbb{H}$ +  $\left\langle +\right\rangle$ 

木の観察ポイント

●木の高さ 高さ10m以上になる木を高木、3~10mぐらいの木を小高木、3m以下の木を低木とよびます。しかし、木の形(樹形)は、年れい(樹齢)、育つ環境、枝を切られるかどうかなどで、大きく変わります。 ●葉っぱの形。木は、何年も花や実をつけないことがあるので、木の名前を調べるには、 葉を観察することがだいじです。葉の形や色、厚さ、すじ(葉脈)の形、ギザギがあるか、

葉のつき方













●かぶれる木 ウルシ科の木は、葉や桜を傷 つけると白いしるが出て、これが皮ふにつく とかぶれます。羽のようにならんだ葉のヤマ ウルシ、ハゼノキ、ヌルデや、3枚セットの 葉のツタウルシ(つる植物)などがあり、身 近なヤブや林に生えます。 観察する時の注意

は毒をもつ毛虫で、



